

「モーモーふれあい体験会2022」を開催しました

宮崎県畜産協会は、「消費者の畜産の知識や関心を深め、県産食肉の消費拡大」を目的に、12月3日(土)、肉用牛に関する食育体験を宮崎県立高鍋農業高校で開催しました。

一般公募した小学生とその保護者を対象に、畜産業の未来を担う農業高校生と、地域で活躍する女性畜産農家が先生となり、体験交流を行いました。



1 時間目：牛さんのはなし～学ぶ～

種類、一生、歯と舌、4つの胃、うんち、和牛オリンピック(全共)など、3人の女性畜産農家が体験などを交えながら分かりやすく説明しました。また、高校生からは口蹄疫と防疫について説明し、子どもだけでなく保護者も熱心に話を聞いていました。



2 時間目：ふれあい体験～感じる～

高校生の誘導と説明で、牛を観察して「絵を描く」、「ふれる」、「ブラッシングをする」、聴診器で「心音を聞く」、「エサをあげる」という体験をしました。小学生は、牛の大きさや匂い、体温を感じながら、少しずつ牛との距離が縮まっていた。



3 時間目：いただきます～感謝する～

高校生が育てて手作りした高農牛ハンバーグのお弁当を、命に感謝しながら美味しくいただきました。



～参加者の声(抜粋)～

- 牛についての話を聞いたり、牛にふれたりして、農家さんは牛のことが大好きで、とても大切なんだな～と思いました。命の大切さをあらためて知ったあとの弁当はかんしゃしながら食べることができました。ふれあいで牛をさわったときはモフモフでおどろきました。(小学生)
- 今日のふれあい体験を通じて、子供に食の大切さを伝えることができ、非常にうれしく思っています。また、自分自身も知らないことがあり、親としても勉強になりました。教えていただいた高校生も丁寧で、宮崎のこれからの農業を担っていただければ、一消費者としても応援していこうと思いました。今日はありがとうございました。(保護者)



地方競馬の収益金は、畜産振興及び地方財政の改善に活用されています。